



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	北海道大学サステナビリティ・ウィーク 2013 : 年次記録 : 持続可能な社会の構築に向けた学び
Issue Date	2017-03
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/65277
Type	report
File Information	chapter-3.pdf,



3. 実施報告



サステナビリティ・ウィーク

2014の開催にむけて

9月スタート!

- SWとは?
- SWのあゆみ
- 昨年の様子
- 参加しませんか!



北海道大学

時代の開拓者、北海道大学が発信するサステナビリティ・ウィーク

北海道大学にはフロンティア精神が息づいています。20大学院・43センターの総合大学となった現在も、防災、感染症の拡大防止、生態系の保全、社会的な包摂など、絶えることのない人類の課題に取り組んでいます。実学を重んじ、研究成果の社会還元を積極的に進める北海道大学にとって「持続可能性＝サステナビリティ」は全学で取り組むべき大きなテーマです。未来への一步を考える場として、時代の開拓者である北海道大学が「サステナビリティ・ウィーク」を世界へ発信しています。

人類を脅かす課題について多角的かつみんなで考える週間

ウィーク期間中は、地球温暖化や食料・水不足、貧困などわたしたちの生存を脅かす課題について、科学技術、学術、政策、経済、産業、生活、ライフスタイルなどあらゆる観点から考えます。参加者は学内にとどまらず、世界の研究者や学生、市民にも広く門戸を開き、みんなで持続可能な社会を実現する方法を議論します。

12万人以上が参加。世界に開かれた交流プラットフォームへ

2007年の初開催以来、シンポジウム、展示、アイデア・コンテストなどの多彩な253行事が実施され、のべ12万人以上の来場者にご参加いただきました。「サステナビリティ・ウィーク」の参加者は年々増え、最新の研究・教育やその成果を携えた研究者が集う「世界に開かれた交流プラットフォーム」に成長しています。





未来への学び

叡智(えいち)や課題を分かち合い
共感することを通じて、
新たな未来を切り開く心、ちから、
仲間を育みます。

14 企画



サステナビリティ

学生環境シンポジウム：持続可能な消費
—食の未来に向けて私たちができること—

9月10日(火)～12日(木)

「世界環境学生サミット」に参加した経験
を持つ北海道大学と京都大学の学生とが
協力してシンポジウムを企画。出身国や大
学そして専門分野の異なる学生20人が
集まり、将来の世代の「食の問題」を約束
するために今できる選択について、討論し
ました。



講義後のシナリオ・ワークショップの様子

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/wsen/>

10月21日(月)～11月4日(月)
ポスター展示：学術成果のオープンアクセスとHUSCAP

持続可能な社会を実現するには、最
新の学術研究成果をより多くの人
と共有することが大切です。北海道
大学の研究者と学生の研究成果(学
術論文)を無料で公開する国際貢献
活動「HUSCAP」の意義と利用状況
について、ポスターで紹介しました。



荒木敦子先生のインタビュー・ポスター

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/lib/>

原子力人材育成事業：
環境放射能に関する国際セミナー

11月9日(土)～11月10日(日)

福島第一原子力発電所の事故など多
様な放射能問題に取り組む意欲を
持った学生が、日本中から集まりまし
た。欧州、米国、日本における最新
の研究について学んだ後、今後の課題
について参加学生と研究者の間で積
極的な討論が行われました。



欧州の核施設分布を示すスライド

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/ray/>

第4回 サステナブル・キャンパス・コンテスト

11月10日(日)

持続可能なキャンパスづくりのアイデア
を競うこのコンテストには毎年、主体的
に問題を解決しようとする学生が集まり
ます。最優秀賞は、博物館横のウッドデッ
キに新たな利用価値を見出し、修復を提
案した学生サークル「北大カフェプロ
ジェクト」が受賞しました。



プレゼンテーションの様子

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/scsd>

GiFT2013 -Global issues Forum for Tomorrow-

10月26日(土)

世界の重要課題に取り組んでいる本学の研究
者が、研究の成果や解決の展望について、イン
ターネットを介して世界中の若者に語りました。
3年目となる今回は「水の課題」と「現代日
本が抱える課題」という2部構成で、6人の若手
研究者が、各12分間講演しました。約100名
の聴衆が会場もしくはインターネット上に集
い、Twitterで幾つもの質問が寄せられまし
た。来年度もGiFTをサステナビリティ・ウィー
クの主要行事として開催する予定です。



上田副学長による冒頭の挨拶

GiFT 特設サイト

▶ <http://www.sustain.hokudai.ac.jp/gift/>



GiFTは3歳です



協力ネットワーク を広げる

国境を越えた協力をさらに進めるため、
海外協定校や国際機関と
協力して行事を開催します。

14企画

10月25日(金)

特別講演: パーマカルチャー ～持続可能な農業を目指して～

質の高い農産物を持続的に収穫するには、
豊かな土壌微生物が不可欠です。農業が
盛んな北海道の発展に資するべく、仏関連
機関と協働してフランスから土壌のエキス
パートを迎え、道内各地から集まった農業
従事者ならびに土壌研究者とが実践的な
議論をしました。



リディア・クロード・ブルギニョン氏の講演

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/france/>

11月5日(火)

環境・エネルギー国際シンポジウム:
持続可能な未来へ ～低炭素社会と再生可能エネルギー～

本学のメインキャンパスが位置する札幌
市の姉妹都市である大田市(韓国)とノボ
シビルスク市(ロシア)から研究者を招へ
いし、各国の再生可能エネルギー事情を
学びました。その上で、北海道内の自治体
の長と市民と研究者が、当エネルギーの
普及方策について議論しました。



会場には190人の市民が集まりました

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/low/>

国際シンポジウム:
アジアにおけるサステナビリティ学の展開

9月24日(火)

持続型社会をつくるための新しい学術体系
「サステナビリティ学」を、各国が抱える持続
性の課題に即して提供すべく、インドネシア、
台湾、中国、日本の大学関係者が、北海道大学
の交流協定校である浙江大学(中国)に集まり、
その方策について議論しました。



中国・浙江大学の会場の様子

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/strass/>

第1回北海道大学
サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト 国際大会

12月9日(月)～12月10日(火)

北海道大学の学生97人による予選の通過
者11人と、海外の大学間交流協定校5校か
ら派遣された7人による初の国際大会を開
催しました。持続可能な社会の実現に貢献し
ようとする学生が、学問分野や学ぶ国を超え
て切磋琢磨する機会となりました。来年は規
模を拡大して開催します。



授賞式後の
記念写真



審査の様子

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/gpc/>

サステナブルキャンパス国際シンポジウム2013

11月6日(水)



サステナブルキャンパスのエキスパート達

「地域と連携したサステナブルキャンパスの構
築」をテーマに東京、ロンドン、トリノ、アムステ
ルダムなどの事例や計画が紹介されました。これに
より、北海道大学と札幌市との地域連携協定を
発展させ、より具体的なキャンパス計画を練る
ための手がかりが得られました。

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/sc2013/>

サステナキャンパス公式サイト

▶ <http://www.osc.hokudai.ac.jp/>



パネルディスカッションの様子

すこやかに 人間らしく生きる

ひとり一人が身体的、精神的、
社会的に良好な状態(Well-being)で
質の高い生活(Quality of Life)を送る
ことのできるコミュニティをつくります。

5 企画



国際シンポジウム 触発する映画 女性映画の批評力

11月4日(月)

ジェンダー・セクシュアリティの表現を創造的に
探求してきた「女性映画」に焦点を当て、学生映
画館プロジェクト「CLARK THEATER」と共同
で女性監督による映画を上映。次の日には、国
内外の映画研究者とともにジェンダー・セクシュ
アリティの平等や多様性について考察しました。



パトリシア・ホワイト教授による講演

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/gender/>

国際シンポジウム サステナブルで 安心な社会の構築に向けて～予防原則という考え方～

11月5日(火)

安心して生活できる社会を実現する上で「予防
原則」という考え方がどのように役立つにつ
いて、専門家と市民が共に考える機会を提供し
ました。講演者は自然科学、予防医学、公衆衛生
学、社会科学の観点から、水俣病など環境化学
物質曝露の問題を中心に知見を共有しました。



ドイツと中国で繋がった会場

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/cehs/>

調和を見いだす

自然の恩恵を意識しつつ、
環境を損なわずに暮らす
道を模索します。

6 企画



外来生物シンポジウム： 生物多様性保全のために外来生物問題とどう取組むか

11月9日(土)

北海道の豊かな自然を保全しようと、外来生
物が及ぼす影響について考える機会を学生
が設定しました。哺乳類、植物、昆虫、両生類、
爬虫類、魚類、甲殻類の専門家を招き、参加者
は現状の理解を深めると共に、政策、技術、教
育の面における対応策を議論しました。



第1部の講義の様子

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/alien/>

経済学研究科 REBNシンポジウム -観光地アメニティによる地域活性化への路-マーケティングからの提言-

11月21日(木)

北海道に眠る観光資源を活性化し、その魅力と
快適性を発信していくヒントを得ようと、道内
外から研究者や実践者を招き、観光振興の
マーケティング成功事例を詳細に学びました。
当テーマへの関心の高さが340人という来場
者数と活発な質疑応答に現れました。

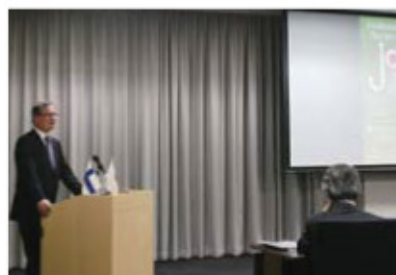


東谷望史氏の講演の様子

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/rebn/>

北海道大学ーフィンランド ジョイントシンポジウム

オープニング・セッション 10月31日(木)



オウル大学 ラウリ・ラウネン 学長の講演

本学とフィンランドのオウル大学、ラップラン
ド大学は大学間交流協定を締結して以来、研
究者及び学生交流を行ってきています。昨年
はオウル大学で開催したジョイントシンポジ
ウムを、今回は本学で開催しました。オープ
ニング・セッションではマヌ・ヴィルタモ駐日
フィンランド大使をはじめ、オウル大学、ラ
ップランド大学及び北極圏大学などの代表が
喜びと今後への期待をお話くださいました。

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/finland/>

分科会1 北方圏における生態系サービスのリスク管理と 持続的社会的構築

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/northern/>

分科会2 少子高齢社会における健康

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/ageing>

分科会3 遺伝情報のビッグデータ氾濫へ向かう科学

▶ <http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/2013/kagaku/>



参 加 企 画 一 覧

日 程	行 事 名	主 催	共 催
9月10日(火)～12日(木)	第2回 サステナビリティ学生環境シンポジウム:持続可能な消費	サステナビリティ日本学生ネットワーク、WSES同窓生	
9月24日(火)	国際シンポジウム: アジアにおけるサステナビリティ学の展開	北海道大学サステナビリティ学教育研究センター	中国・浙江大學
9月29日(日)	自分じゃ気づかない、寝ている間のいびきと歯きり	北海道大学歯学研究科	
10月10日(木)	泥炭地管理国際会議:熱帯および冷温帯泥炭地管理の在り方とその未来像	北海道大学サステナビリティ学教育研究センター	
10月17日(木)	STAND UP TAKE ACTION in Hokudai	北海道大学附属図書館/国連寄託図書館	JCK北海道事務局、TICAD V 学生プロジェクト 北海道事務局
10月19日(土)	経済学部主催 第10回 プレゼン・ディベート大会	北海道大学経済学部	
10月21日(月)～11月4日(月・祝)	国術成果のオープンアクセスとHUSCAP	北海道大学附属図書館	
10月23日(水)	北大×JICA 連携企画:持続可能な社会をつくる日本のボランティア	JICA北海道	北海道大学国際本部
10月25日(金)	特別講演:パーマカルチャー ～持続可能な農業を目指して～	札幌日仏協会/札幌アライアンス・フランス、アンステイチュアランセ日本	北海道大学農学研究院、国際本部
10月26日(土)	SW2013 記念企画GIFT:2013～Global Issues Forum for Tomorrow～	北海道大学	
10月26日(土)～11月10日(日)	ペロタクシー&LCC DE北大散歩:自転車タクシー等による移動手段に関する実証研究	北海道大学環境科学院	北海道グリーン購入ネットワーク
10月29日(火)	時計台サロン:農学部に聞いてみよう	北海道大学農学研究院	北海道新聞社
10月29日(火)	第4回 ESD 国際シンポジウム:国際協同教育の開発	北海道大学教育研究院	韓国・ソウル国立大学校、韓国・高麗大学校、中国・北京師範大学、タイ・チュラロンコン大学
10月29日(火)	「世界で働く」講演会:附属図書館新渡戸カレッジ応援イベント	北海道大学附属図書館/国連寄託図書館	北海道大学新都市キャリアセンター、国際本部、新渡戸カレッジ
10月29日(火)	資料展示:サステナビリティって、なに?	北海道大学附属図書館、図書館学生サポーター	
10月31日(木)～11月4日(月・祝)	CLARK THEATER 2013	北大映画館プロジェクト	
10月31日(木)	遺伝情報のビッグデータ氾濫へ向かう科学	北海道大学情報科学研究科	URAステーション
10月31日(木)	北海道大学・フィンランド ジョイントシンポジウム:オープニングセッション	北海道大学、フィンランド・オウル大学、フィンランド・ラップランド大学	フィンランド日本教育協会
11月1日(金)	北方圏における生態系サービスのリスク管理と持続的社会的構築	北海道大学地球環境科学研究所	フィンランド・オウル大学、フィンランド・ラップランド大学
11月1日(金)	少子高齢社会における健康	北海道大学医学研究科	北海道大学工学研究院
11月1日(金)～24日(日)	白夜の北極紀行・グリーンランドと氷河氷床調査に関する企画展示	北海道テレビ、北海道大学低緯度科学研究所、総合博物館	
11月1日(金)	第1回 農学研究院地域連携企画:現場主義にもとづく持続可能な農村づくり	北海道大学農学研究院	北海道新聞社、北の三大学連携(厚別大学・北海道大学・帯広畜産大学)
11月1日(金)	留学希望者向けセミナー:SD on Campus	北海道大学国際本部	
11月2日(土)～4日(月・祝)	東アジアメディア文化交流プロジェクト:越境するメディアと東アジア	北海道大学メディア・コミュニケーション研究センター	
11月3日(日)	保健科学研究所公開講座:ようこそ!ヘルスサイエンスの世界へ	北海道大学保健科学研究所	
11月4日(月・祝)	国際シンポジウム:触発する映画～女性映画の批評力～	北海道大学文学研究科	
11月5日(火)～7日(木)	第5回 北海道大学サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト	北海道大学	
11月5日(火)	環境・エネルギー国際シンポジウム:持続可能な未来へ	北海道大学「持続可能な低炭素社会」づくりプロジェクト	環境省北海道地方環境事務所、札幌市、一般社団法人 北海道再生可能エネルギー振興機構、GreenerWeek運営協議会
11月5日(火)	日露学術シンポジウム:知られざる極東ロシア	日露学術シンポジウム実行委員会	国際科学技術センター
11月5日(火)	国際シンポジウム:サステナブルで安心な社会の構築に向けて	北海道大学環境健康科学研究教育センター	北海道大学保健科学研究所、医学研究科、教育研究センター、メディア・コミュニケーション研究センター
11月6日(水)	北大アフリカ研究会シンポ:アフリカで活躍する北大の研究者たち	北海道大学アフリカ研究会	
11月6日(水)	サステナブルキャンパス国際シンポジウム2013	北海道大学サステナブルキャンパス推進本部・施設部、一般社団法人国立大学協会	
11月7日(木)	第6回 セラミド研究会 学術集会	セラミド研究会事務局	サッポロヘルスイノベーション「Smart-H」
11月7日(木)	産学官セミナー:地理空間情報が招く未来V ビッグデータの衝撃	北海道大学文学研究科	地理情報システム学会北海道支部、北海道GIS・GPS研究会、NPO法人Digital北海道研究会
11月9日(土)～10日(日)	原子力人材育成事業:第3回 環境放射能に関する国際セミナー	原子力人材育成「環境放射能」事務局	
11月9日(土)	外来生物シンポジウム:生物多様性保全のために外来生物問題とどう取り組むか	北海道大学文学研究科	
11月10日(日)	第4回 サステナブル・キャンパス・コンテスト	SCSD(The Student Council for Sustainable Development in Hokkaido University)	北海道大学サステナブルキャンパス推進本部
11月15日(金)～17日(日)	先住民文化遺産とツーリズム～生きている遺産の継承と創造～	北海道大学アイヌ・先住民研究センター	北海道大学観光学典等研究センター、平取町
11月21日(木)	経済学研究科 REBN シンポジウム:観光地アメニティによる地域活性化への路	北海道大学経済学研究科	日本ダイレクトマーケティング学会
12月9日(月)～10日(火)	第1回 北海道大学サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト 国際大会	北海道大学	

サステナビリティ・ウィーク2013

持続可能な社会の構築に向けた学び

Learning for a Sustainable Society

未来をつくるために学ぼうと、40企画に世界から人が集まりました。

D A T A

第7回サステナビリティ・ウィーク

2013.9.10~12.10

企画数 **40** 企画

サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト

参加数 **73** チーム
(81名) [学部生 3名
修士 29名
博士 49名]

審査員数 164名 (参加の学部・大学院数:10)

サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト 国際大会

参加数 **18** 名 [北大 11名
海外協定校 7名]

審査員数 37名 最優秀賞4名、優秀賞1名、特別賞3名

Webサイト訪問者数

28,822 人

(期間: 2013/4/1~2013/12/31)

参加人数: **59,742** 人[附属図書館3企画:24,529人
北図書館展示:17,229人
博物館展示:11,712人
その他35企画合計:6,272人]

大学間交流協定校とのジョイント企画

参加校の内訳

4 企画 **7** 大学

フィンランド

オウル大学
ラップランド大学

韓国

高麗大学校
ソウル大学校

タイ

チュラロンコン大学

中国

浙江大学
北京師範大学

大学間交流協定校からの参加数

(上記に加え) **76** 名 (11ヶ国20大学)

- アメリカ アラスカ大学、テキサス大学
- イタリア トリノ工科大学
- インドネシア バランカラヤ大学、ガジャマダ大学、
- カナダ ブリティッシュ・コロンビア大学
- スイス ジュネーブ大学
- スリランカ ペラデニヤ大学
- タイ マヒドン大学
- 中国 國立成功大学
- ノルウェー ベルゲン大学
- ロシア 科学アカデミー極東支部大学、北東連邦大学

サステナビリティ・ウィークの歩み

▼ 2007



持続可能な社会づくりに北海道大学全体で取り組もうと、強化週間「サステナビリティ・ウィーク」が誕生しました。市民講座やシンポジウムなど6つの行事を開催し、800人以上が参加しました。

▼ 2008



G8北海道洞爺湖サミットに呼応したG8大学サミットをホストし、札幌サステナビリティ宣言の採択に貢献。パン・ギムン国連事務総長との対話集会をはじめとする50行事を開催しました。

▼ 2009



異分野の研究者が一堂に集まり互いに議論する世界的にも極めてユニークな企画「サステナビリティ学生研究ポスターコンテスト」を初開催。学生が主体的に参加できる場がいっそう拡大されました。

▼ 2010



自然科学の議論が多かったこれまでから一変。人間にスポットライトをあて、ひとり一人がすこやかに人間らしく生きる社会を目指した行事を増強しました。国内外から1万人以上の来場者が集まりました。

▼ 2011



3月11日に発生した東日本大震災と原子力発電所の事故を受け、持続可能な社会のあり方を再考する行事を開催しました。関連する最新の研究を公開するインターネットフォーラム「GiFT」が誕生しました。

▼ 2012



持続的な時の流れをコンセプトにした公式ロゴが定まりました。より多くの人に参加してもらえるよう、「GiFT」に続き「サステナ・学生フォーラム」などインターネットを活用した企画を大幅に拡大させました。

SW2014にはいろいろな参加方法があります



✉ **sw1@oia.hokudai.ac.jp**

■ お問い合わせ

サステナビリティ・ウィーク事務局 北海道大学 国際本部内

〒060-0815 北海道札幌市北区北15条西8丁目 電話:011-706-8031 FAX:011-706-8036

サステナビリティ情報に もっとアクセス!

サステナビリティ・ウィーク公式サイト
<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/jp/>



SWの総合情報サイト。行事の最新情報はもちろん、過去の行事内容まで、
 SWに関する全ての情報を網羅しています。

サステナ ポータル "HUISD"
<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/huisd/jp>



北海道大学による持続可能な社会づくりの窓口「サステナ・ポータル」。
 北海道大学の構成員の「サステナビリティ」に関する活動情報に
 アクセスできます。

作成日：平成 29 年 3 月

作成者：北海道大学サステナビリティ・ウィーク事務局

〒060-0815 北海道札幌市北区北 15 条西 8 丁目

TEL 011-706-8031／ E メール contact@oia.hokudai.ac.jp

北海道大学国際部国際企画課

〒060-0815 北海道札幌市北区北 15 条西 8 丁目

E メール planning@oia.hokudai.ac.jp
